

日時: 2014年2月21日(金) 18:00-17:30 場所: 神奈川大学 24号館 310会議室

◆主催: 防災塾・だるま 司会: 加藤さん

◆談義の会参加者: 会員 24名 一般 0名 計 24名 (敬称略)

(会員) 池田、小原、田中(伸)、中島、森、山口(昭)、山口(章)、田中(喜)、中村(茂)、山田(美)、成松、田中(晃)、渡邊(善)、玉井、加藤、佐々木、山田(富)、鈴木、石井(邦)、後藤(浩)、磯野、小林、込宮、西川。

I. 「防災塾・だるま」活動報告

1. 活動概況

- (1) **次回の談義の会(第105回)**は3.11をテーマに3月11日(火)に実施する。多数の参加を期待。池田さん
18:00~19:30 会場: 神奈川大学 16号館 視聴覚室B
テーマ: 「3.11から3年、被災地復旧の現状と課題~経済学者の視点から~」
講師: 佐藤 孝治 氏 (神奈川大学経済学部教授: 防災塾・だるま顧問)
- (2) 役員会報告: 総会準備状況、「防災塾・だるま談義の会 100回のあゆみ」作成、他。 佐藤(忠)さん
- (3) 2014年実践講座: 田中(晃)さん(緑区)リーダーで準備開始を了承。 池田さん
- (4) 被災地を巡る: 東日本(4月)の企画は見送りとする。今後ほかの案を検討予定。 佐々木さん

II. 定例会報告(司会: 森さん)(参加者: 会員 24名 一般 0名 計 24名)

神戸より学ぶ「1.17神戸のつどい」参加報告(進行: 中島さん)

* 1月16-17日 参加者: だるま会員 9名 一般 3名 計 12名

- * 活動内容
- ① 被災地の記憶を巡る(東公園-防災公園-港の遺構)
 - ② 神戸市役所・防災展示室(河嶋さんの解説)
 - ③ 松山さん(元神戸市職員)・今石さん(芦屋市役所)との懇親会
 - ④ □1.17 慰霊式典
 - ⑤ 人と防災未来センター
 - ⑥ □その他 - 仁川百合野地すべり資料館: 地すべり跡(西宮市 市民34名死亡)に建てられた資料館
- 兵庫県心のケアセンター(神戸市): トラウマやPTSD等のこころのケアの研究・研修



定例会司会の森さん

- ◆来年は20周年、震災の面影が殆ど見られなくなった。復旧・復興に20年かかったということなのか。震災後に生まれた・移った住民が6割強、追悼式参加者高齢化、震災記憶の風化、時間の経過を強く感じた。
- ◆震災の遺構、地震の巨大なエネルギー、現場保存の訴求力の強さは震災を知らない世代へのメッセージ

松山先生から:

「災害は必ずいつか発生します。どんなに完全な素晴らしい対策を作っても、それを生かすのは人の手です。英知と使命感と勇気・人類愛そして想定外のことにでも対応できる知識と起点を持つ人が必要です。マニュアルが無くて動ける、そんな人材の育成がこれからも課題だと思います。」

- ◆地すべり資料館・・・急傾斜地の多い横浜や他地域でも参考になる。
こころのケアセンター・・・災害の時の心のケアは重要な課題。
みなとのもり公園の非常トイレ設備等・・・減災施設として参考になる。

参加者:
現地で学んだ事、感じた事を
地域の人に伝えていきたい。

緊急テーマ「大雪対策について」(意見交換)

- ◆会員レポート: 建屋崩壊、カーポート被害など。(相模原)
- ◆想定外の事態に即応できる構えを取れていたか、大雪への備え(食料や水など)、行政の対応など、検証!

III. 第104回談義の会 (司会：加藤さん)

話題：会員活動報告「私は地域でこんな活動をしています」

* 報告書の提出者：約20名 配布資料：定年後の地域デビュー (2月2日 朝日新聞)



談義の会司会の
加藤さん

《まちづくり・ひとづくり～地域の防災力向上のために》 まだまだ課題は多い・・・

- ・地域のリーダーとして (自治会、防災・減災組織、地域防災拠点・マンション防災組織)
- ・地域のリーダーや若い世代の育成のために (防災訓練、啓蒙活動 防災ギャザリング 等々)
地域の防災・減災講座(六角橋ケアプラザ講座は今後も継続予定)、
HUG・J-DAG 訓練、地域防災スクール in かながわ 等々。
- ・地域の小・中学校の防災・減災授業も支援。



《被災地支援 災害ボランティア活動》

- ・神奈川県から被災地へ 東日本大震災の復旧・復興業務に現地で携わる
だるま会員も。派遣職員として専門性と実務経験を生かす。

《防災塾・だるまの活動》ホームページには活動報告、防災・減災情報や今後の活動予定が掲載されている!

- ・活動概要：定例会 談義の会 実践講座 被災地訪問と交流 防災に関する提言 等々。
- ・多彩な顔ぶれ：セーフティリーダー、防災マイスター、アマチュア無線、赤十字活動など幅広い。
- *** 震災対策技術展(2/7 パシコ横浜)では荏本塾長が活動紹介「市民と共に七転び八起き」***

IV. 今後の予定

- 平成26年3月例会 **3月11日(火)** 場所：神奈川大学 16号館 視聴覚室B
だるま定例会 15:30～17:30
第105回防災まちづくり談義の会 18:00～19:30
話題：「3.11から3年、被災地復旧の現状と課題 ～経済学者の視点から～」
講師：佐藤 孝治 氏 (神奈川大学経済学部教授：防災塾・だるま顧問)
(役員会：3/4(火) 資料準備：3/6(木) 10-12時 851荏本研究室)
(臨時役員会：3月25日(火) 10-12時 総会・新年度関係のため 851 荏本研究室)
- 平成26年4月例会 4月25日(金) 場所：神奈川大学 1号館 301号室
だるま定例会・総会 15:30～17:30
第106回防災まちづくり談義の会 18:00～19:30
話題：「3.11後の防災関連法案の改訂等 ～地域防災計画などの見直し～ (仮)」
講師：中川 和之 氏 (時事通信社)
(役員会：4/8(火) 資料準備：4/22(火) 10-12時 851荏本研究室)
- 平成26年5月例会 5月30日(金) 場所：神奈川大学 1号館 301号室
だるま定例会 15:30～17:30
第107回防災まちづくり談義の会 18:00～19:30
話題：「火山と防災 ～富士山・箱根火山を例にして～ (案)」
講師：平田 大二 氏 (神奈川県立生命の星地球博物館)
(役員会：5/13(火) 資料準備：5/27(火) 10-12時 851荏本研究室)
- 平成26年6月例会 6月20日(金) 場所：神奈川大学 詳細未定。

《配布資料》

1. 「神戸の集い2014」（松山先生メッセージと参加者の「私の感想」）
2. ハマ発 NEWSLETTER2014年1月第21号（横浜都市発展記念館）
①横浜市が記録した震災と復興 ②子どもたちが見た「関東大震災と横浜」
3. 「2014年度区予算案 防災など4分野に重点」（タウンニュース 神奈川区版 2014.2.13）
4. 震災から学ぶ様々な施設（兵庫県内）（pg.4に掲載 ご参照）
5. 「緑区まちづくり計画：改正素案に関する市民意見(案)」H26.2.14（まちづくりネットワーク緑）
6. 「大雪の教訓 想定外に備える社会を」（朝日新聞 2014.2.18）
7. 都筑区平成26年度防災カレンダー（早川さん提供）

《展示資料》

1. 文科省「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」（神奈川県DB起爆剤研究会）
2. 神戸市各区防災特別号「くらしの防災ガイド」：子どもたちへのメッセージ集 2005-2013
3. 緑区まちづくり計画：横浜市都市計画マスタープラン：緑区プラン 平成26年1月
4. 横浜市消防局 平成26年度予算

《セミナー・講演会・イベント情報》

1. 3月2日(日) 調査報告「足柄平野の木造建物の耐震性推測について」公開説明報告会
10時半-12時 開成町民センター (Tel: 0465-82-5221) 無料 申込み：不要
講師：荏本 孝久 氏 (神奈川大学工学部教授 防災塾・だるま塾長)
2. 3月6日(木) 磯子防災講演会「忘れない！3.11の教訓と私たちが備えること」
14-16時 磯子区民文化センター杉田劇場 (JR根岸線・新杉田駅3分) 無料
講師：木戸 ゆかり氏 コンサート 磯子消防署他
3. 3月7日(金) シンポジウム「リスク社会のイノベーション2014」（防災科学技術研究所）
10-17時 東京国際フォーラム・ホールD (JR有楽町徒歩1分) 無料 要申込み
http://www.bosai.go.jp/press/2013/pdf/20140205_01.pdf
4. 3月8日(土) 「Bo-sai2014 in Yokohama-災害に強いまち横浜の実現へ！今こそ備えよう」
11-17時半 横浜山下公園 横浜青年会議所
だるま協力：J-DAG訓練・紹介展示 詳細：横浜青年会議所 HP 参照 問合せ：045-671-7485
<http://www.yokohama-jc.or.jp/2014/01/18/1155>
5. 3月23日(日) 文科省「地域防災対策支援研究プロジェクト」地域報告会 (交流会の予定！)
13-16時半 小田原：生命の星・地球博物館 (箱根登山鉄道・入生田駅3分)
基調講演：「地震被害想定とは-首都圏直下地震被害想定を事例にして-」
(東京経済大学 吉井 博明 氏)
パネルディスカッション：「備えよう！これからの神奈川の災害に向けて」
申込み：不要 問合せ：03-3249-4120 (防災・情報研究所) 協力：チームあしがら 他
<http://nh.kanagawa-museum.jp/event/info/ev158.html>

《2014年 震災から学ぶ様々な施設（兵庫県内）》（池田作成 詳細は各HP参照）

1. 人と防災未来センター （神戸市中央区）
 - ・震災を体感し防災を学ぶ （有料：1月17日は無料）
 - ◎同資料室 （無料：人と防災未来センター5階）
2. 兵庫県広域防災センター （三木市）
 - ・災害の備えを考える （無料：要予約）
3. 北淡震災記念公園 （淡路島：淡路市）
 - ・震度7を体感する （有料）
4. E・ディフェンス：兵庫耐震工学研究センター（三木市）
 - ・世界最大級！実大三次元の振動実験施設 （要予約；防災科学技術研究所）
5. 震災資料保管庫 （神戸市東灘区）
 - ・地震で失ったもの、伝えるべきもの、・・・（完全予約制）
 - 平成11年開設 2010. 1. 17（平成22年） リニューアル（阪神高速道路（株）の資料）
6. 神戸港震災メモリアルパーク （神戸市中央区）
 - ・メモリアルパークの岸壁の一部を被災当時のまま保存
7. みなとのもり公園 （神戸市中央区）
 - ・神戸震災復興記念公園（震災から15年目の2010. 1. 17開園）
8. 神戸大学附属図書館・震災文庫（神戸市灘区六甲台2-1） 六甲台キャンパス
 - ・社会科学系図書館 2階メインカウンターで手続き どなたでも利用可
9. 野田北部・たかとり震災資料室（無料：神戸市長田区）
 - ・野田北ふるさとネットが2009. 1. 17開設
10. 長田南部（神戸市長田区）
 - ① 鉄人28号 モニュメント：高さ15m 重量50t（地下鉄・JR新長田）
 - ② 神戸市立地域人材支援センター（旧 二葉小学校） “震災体験学習”等の活動を実施
11. 神戸市役所
 - ① 協働と参画のプラットフォーム 市民の皆さんとの取組みを紹介する（1号館24階）
 - ② 危機管理センター 防災展示室・研修室（危機管理センター1階：市役所裏側）
12. 仁川百合野町地すべり資料館 西宮市 阪急「仁川」下車徒歩約20分
 - ・地すべりで34名の市民が亡くなった跡に建てられた資料館
13. 兵庫県こころのケアセンター：神戸赤十字病院の南側 2004. 4オープン（平成16年）
 - ・トラウマやPTSD等の「こころのケア」に関する研究や研修を行う全国初の拠点施設